

2023年2月期（FY2023） 第1四半期 決算説明資料

2022年7月13日
ローツェ株式会社

証券コード：6323
<https://www.rorze.com/ir>

注意事項

◆ 将来見通しに関する記述について

本資料に記載されている業績予想、将来予測などは、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、その情報の正確性、完全性を保証したり、約束したりするものではありません。

また、経済動向や業界における競争、市場、諸制度等の変化により大きく見通しの変動する可能性があり、今後予告なく変更されることがあります。

◆ 本資料における表示方法について

数 値： 単位未満を切り捨て

比 率： 1円単位の金額で計算後、単位未満四捨五入

会計期間： 連結・当社、国内および海外子会社の会計期間は次のとおり

	Q1 (第1四半期)	Q2 (第2四半期)	Q3 (第3四半期)	Q4 (第4四半期)	通 期
連結・当社・国内子会社	3月～5月	6月～8月	9月～11月	12月～翌年2月	3月～翌年2月
海外子会社	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～12月

◆ 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等の適用について

当第1四半期連結会計期間より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用しております。経営成績、財政状態及びキャッシュ・フローに関する説明における前年同期及び前連結会計年度末との比較は、当該会計基準等を適用する前の前連結会計年度の連結業績を基礎に算定しております。

会社概要

商号	ローツェ株式会社（英文名：RORZE CORPORATION）
所在地	広島県福山市神辺町道上1588番地の2
設立	1985年（昭和60年）3月30日
資本金	982百万円
事業内容	半導体・フラットパネルディスプレイ（FPD） ライフサイエンス関連の自動化・搬送装置の開発・製造・販売
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（証券コード：6323）
従業員数	連結 3,827名（2022年5月末現在） 単体 228名
事業拠点	国内：福山（本社）・横浜・熊本・つくば 海外：米国・ベトナム・台湾・韓国・シンガポール・中国・ドイツ

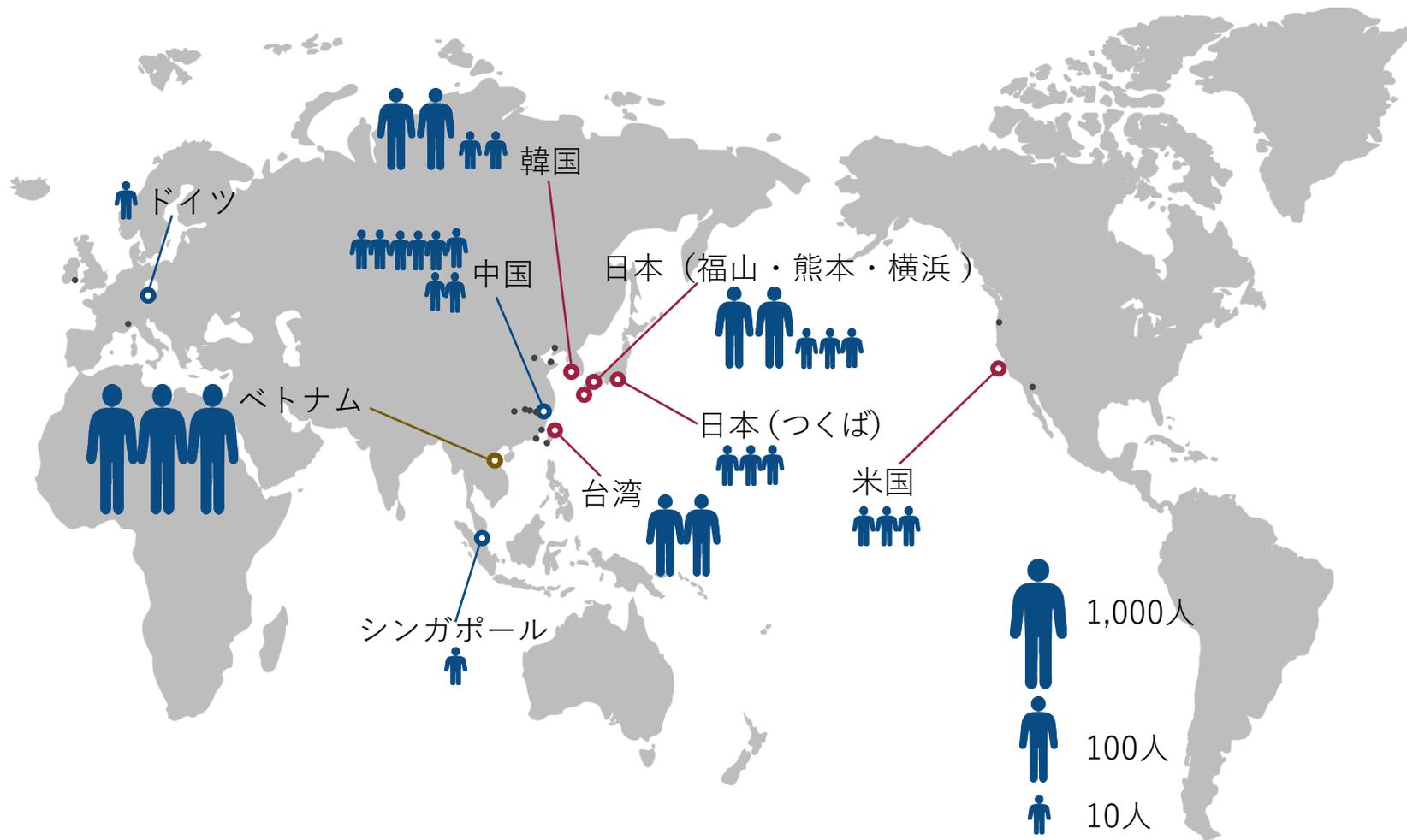


会社案内ダウンロード

https://www.rorze.com/files/jp/company_profile.pdf

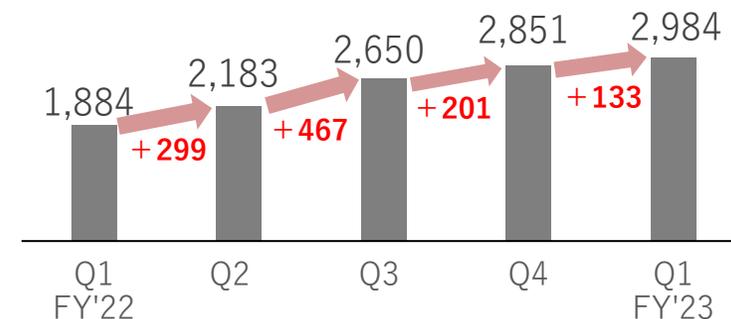


グローバルネットワーク



グループ従業員数 3,827名
(2022年5月末現在)

RORZE ROBOTECH (ベトナム)
従業員数



(注) Q1: 3月31日現在 Q2: 6月30日現在
Q3: 9月30日現在 Q4: 12月31日現在

- Red circle: 開発・生産・営業・サポート
- Blue circle: 営業・サポート
- Yellow circle: 開発・生産
- Black dot: サポート



2023年2月期（第38期）
第1四半期（2022年3月～2022年5月）
連結業績

2023年2月期 第1四半期決算ハイライト

増収増益

売上高

21,688 百万円

前年同期比 **+50.2%**

営業利益

5,029 百万円

前年同期比 **+76.6%**

経常利益

7,186 百万円

前年同期比 **+103.0%**

当期純利益

5,126 百万円

前年同期比 **+90.1%**

2023年2月期 第1四半期決算ハイライト

◆ 売上増加に伴う量産効果等により前年同期比増収増益

- ・ 半導体製造装置需要の拡大により主力の半導体関連装置の売上増加
- ・ 前期末の受注増加によりFPD関連装置の納入が進み売上増加
- ・ 損益面では売上高増加に伴うベトナム工場の量産効果及び為替の影響等により増益

◆ 受注は半導体関連装置が増加、FPD関連装置は減少

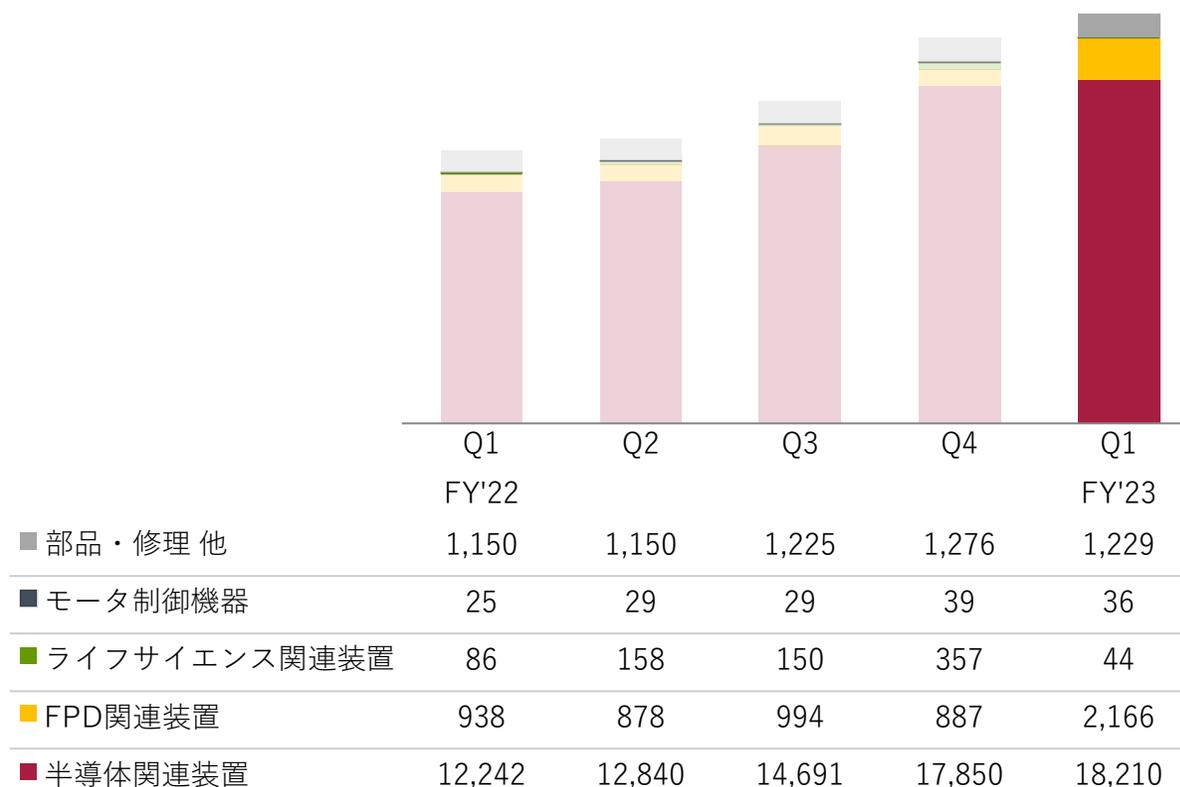
- ・ 半導体関連装置は、製造装置需要の拡大に加え、部品の長納期化の影響から早期発注傾向が続き、当四半期の受注高及び受注残高は高水準を継続
- ・ FPD関連装置は、当四半期に大口受注なく、受注高及び受注残高は減少

2023年2月期 第1四半期連結業績

(百万円)

科 目	Q1 FY'23	Q1 FY'22	前年 同期比(%)
売上高	21,688	14,442	150.2
半導体関連装置	18,210	12,242	148.8
FPD関連装置	2,166	938	230.9
ライフサイエンス関連装置	44	86	52.0
モータ制御機器	36	25	143.6
部品・修理他	1,229	1,150	106.9
営業利益	5,029	2,848	176.6
経常利益	7,186	3,539	203.0
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5,126	2,696	190.1

(百万円) 連結四半期別売上高の推移 (品目別)



※当四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用

2023年2月期 第1四半期連結売上高

◆ 連結売上高216億円（前年同期比 50.2%増）

【半導体関連装置】 182億円（前年同期比 48.8%増）

- 中国： N2パージウエハストツカの売上増加、製造装置メーカー向けEFEMの販売好調
- 米国： 主要製造装置メーカー向けの売上は前四半期比で若干減少したが好調続く
- 台湾： ファウンドリ向けウエハソータの販売好調

【FPD関連装置】 21億円（前年同期比 130.9%増）

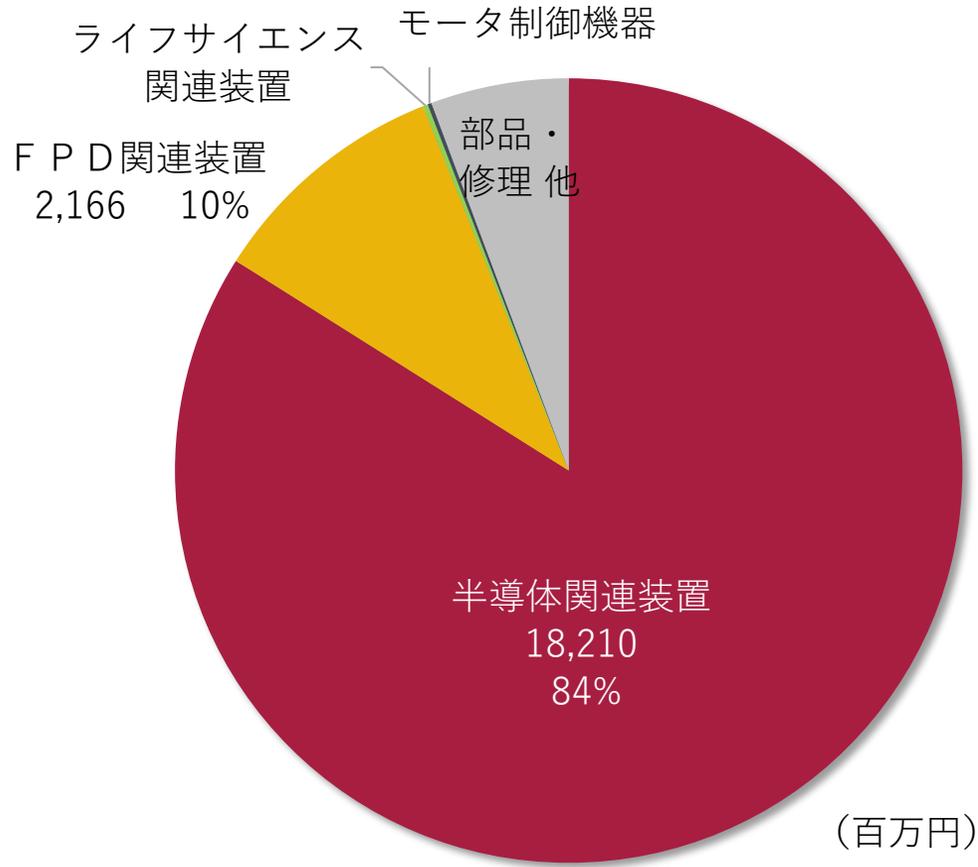
- 韓国向け受注を中心に売上増加、ベトナム、インド向け装置納入も継続

【ライフサイエンス関連装置】

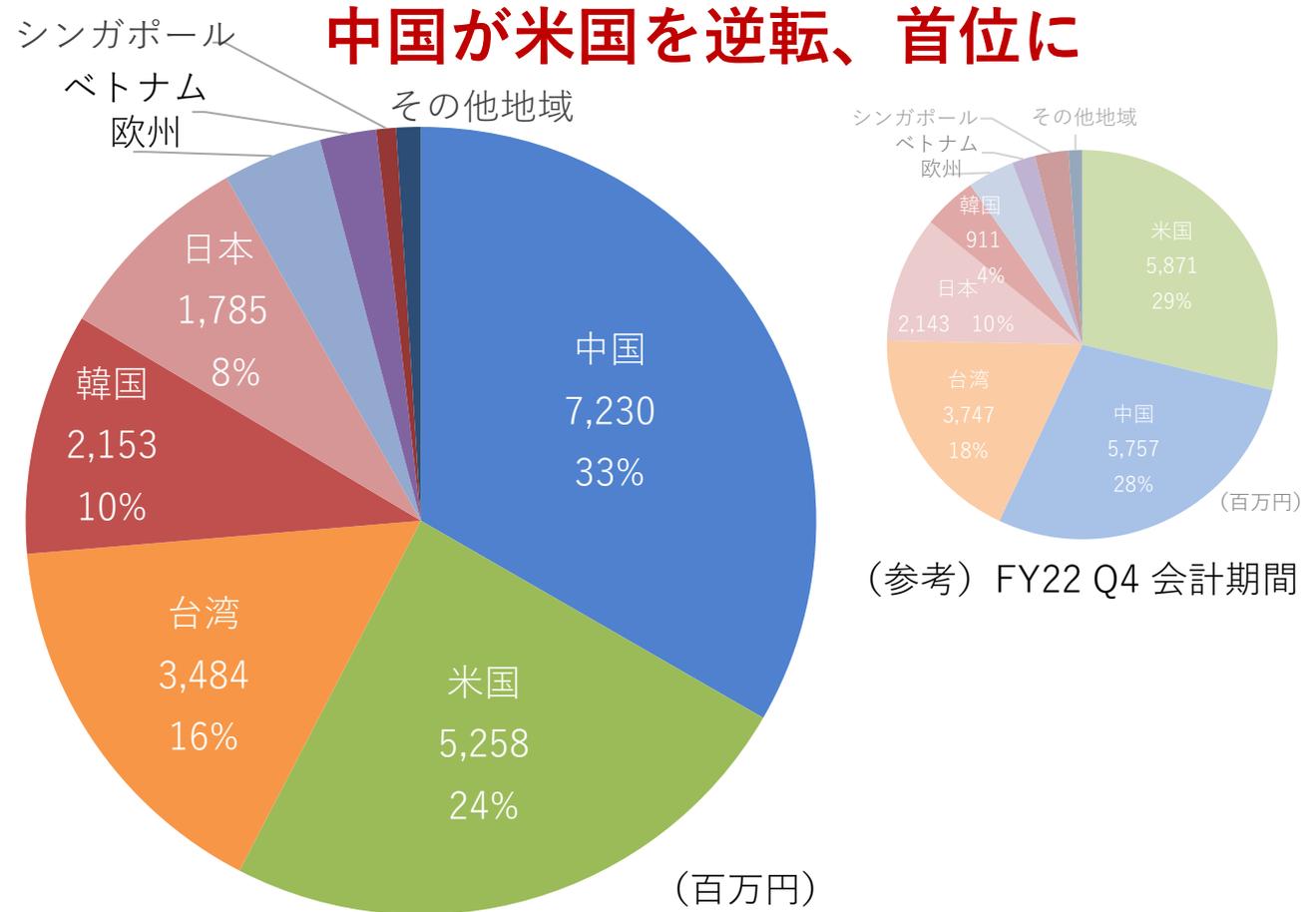
- 2月の装置納入の反動減により売上高は低調に推移

品目別・地域別売上高

品目別



地域別

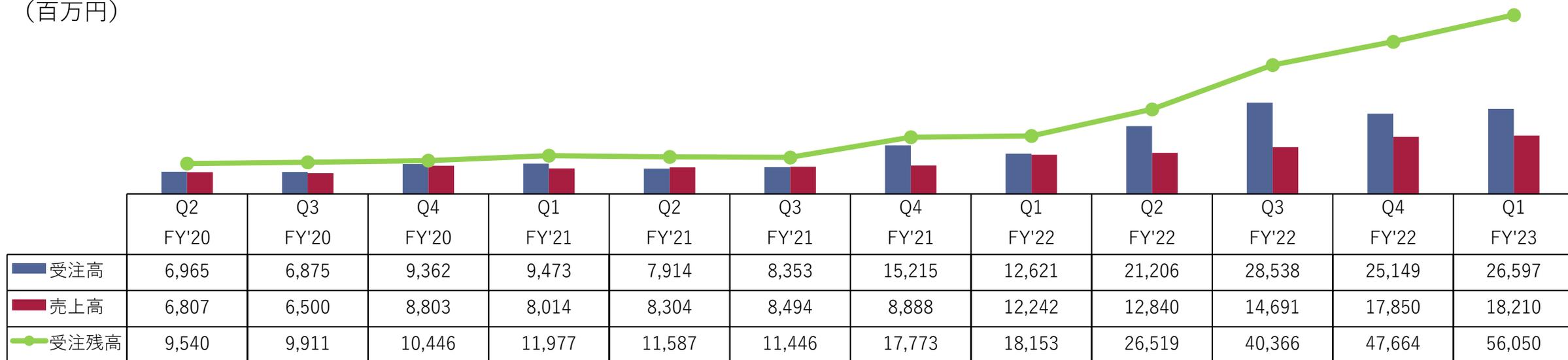


受注高・売上高・受注残高の推移

◆ 半導体関連装置

- 当四半期受注高は前四半期を約14億円上回る高水準
- 受注残高は過去最高を更新
- 生産能力を徐々に増強するも、部品長納期化の影響により長い製品納期は依然変わらず
- 台湾ファウンドリ向けウエハソータの受注増加
- 米国及び中国の主要製造装置メーカー向けのEFEM受注が堅調

(百万円)

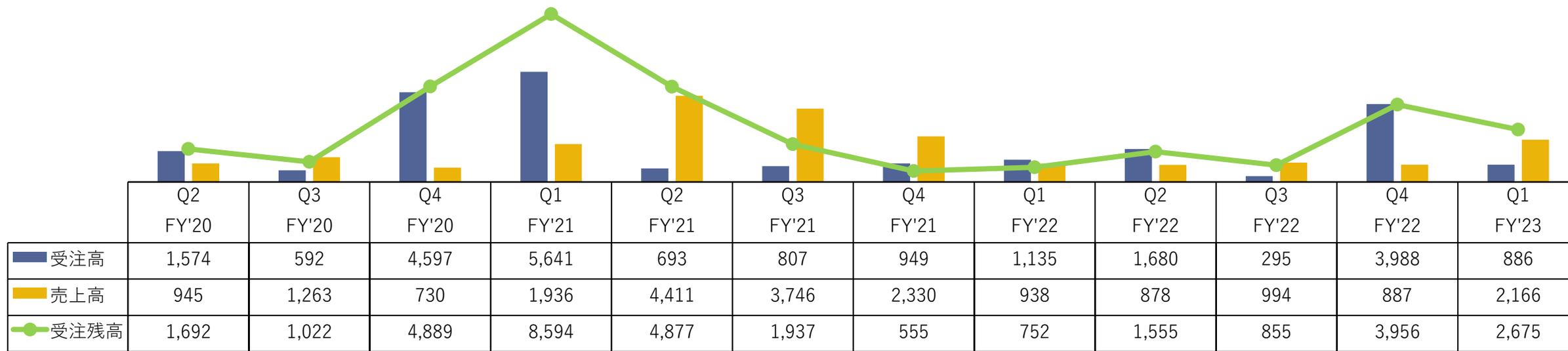


受注高・売上高・受注残高の推移

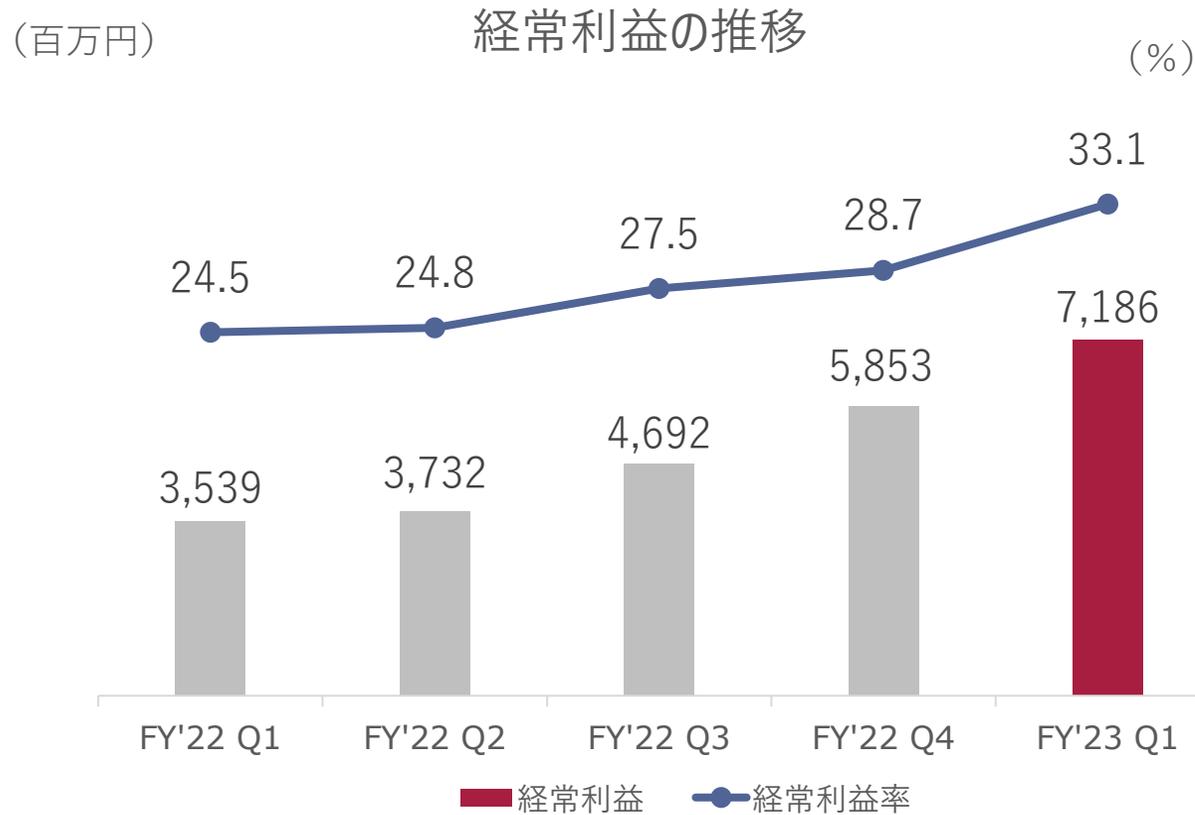
◆ FPD関連装置

- 前期末受注分からの装置納入により21億円の売上実績
- 当四半期の大口受注なく受注残高は減少

(百万円)



損益状況

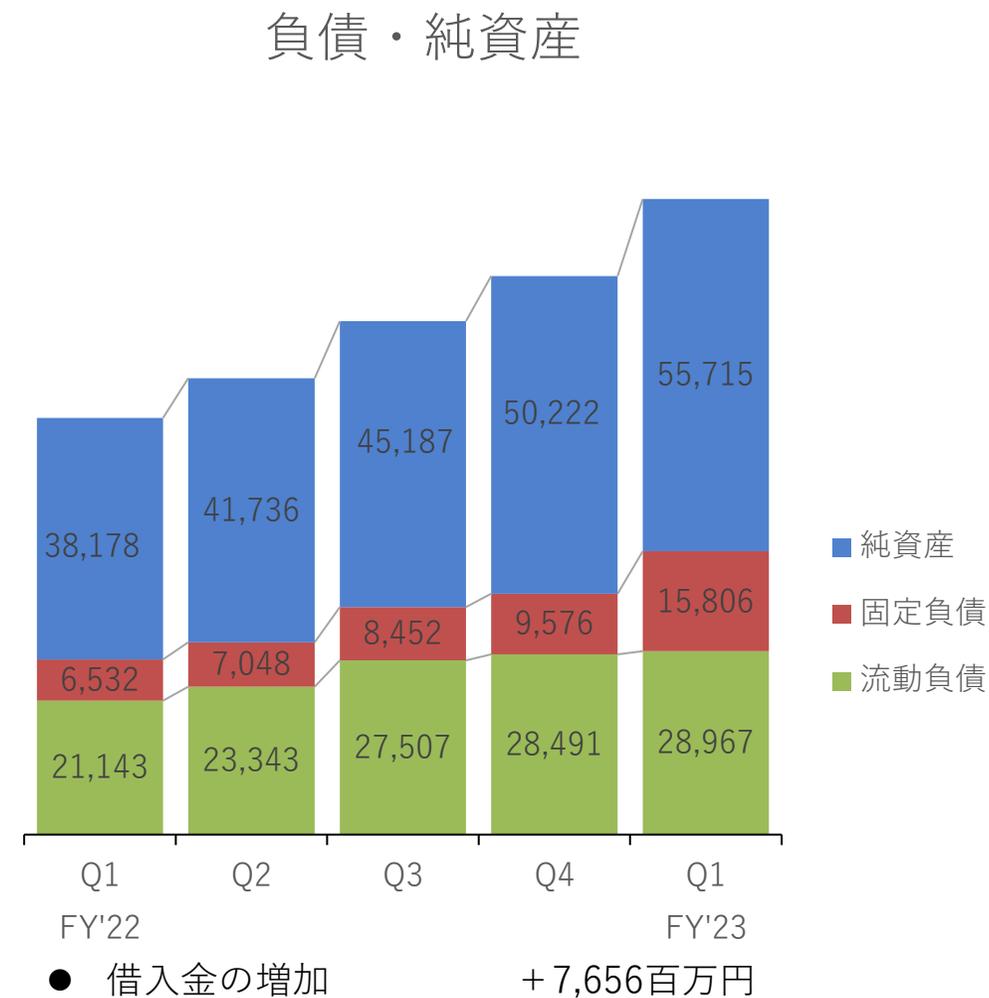
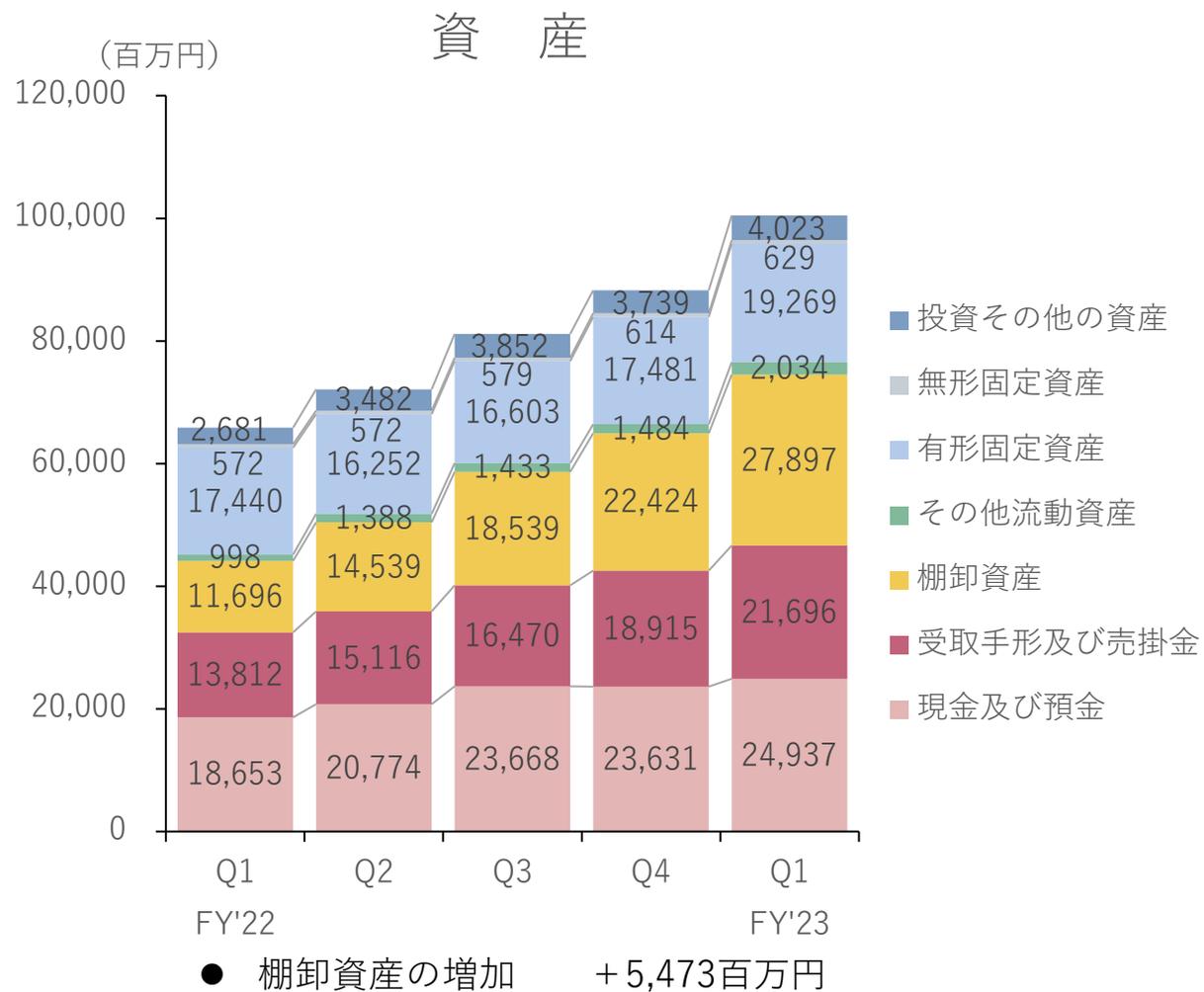


◆ 経常利益71億円

(前年同期比103.0%増)

- 原材料費増の影響を受けるものの増収効果により売上原価率は抑制され、販管費率は低下
- 日本、ベトナムにおける為替差益
- 当四半期から「収益認識に関する会計基準」適用の影響あり

連結貸借対照表





2023年2月期（第38期）
今後の見通し

2023年2月期 今後の見通し

【事業環境】

- コロナ禍での中国ロックダウンやロシア・ウクライナ情勢の影響などにより足元の事業環境に減速感広がる
- 5G関連、IoT、データセンター、スマートフォンの高機能化、メタバースなどの新たな半導体需要
- カーボンニュートラルやSDGs（持続可能な開発目標）の観点から、グリーン投資による半導体需要
- 経済安全保障の観点から各国・地域で半導体産業への大型補助金投入、各社半導体工場の設備投資計画
- 自動車や家電製品等への半導体不足が継続

【半導体関連装置】

- 事業環境の変化による客先からの装置発注に特に影響なく、主力搬送装置の受注・販売は堅調な推移を見込む
- 半導体をはじめ各種部品の入手困難な状況、長納期部品の調達コスト増加傾向が続く
- グループ内の生産体制強化をはかる
ベトナムはA10新工場建設と従業員採用継続、中国子会社は現地でEFEM生産、量産体制づくりを加速

【FPD関連装置】

- 韓国主要取引先から受注した装置の納入継続、今後の大口案件受注を見込むが時期、規模等の不透明感が続く

【ライフサイエンス関連装置】

- 国内大手製薬メーカー及び中国における販売拡大および新規装置開発をはかる

2023年2月期 今後の見通し

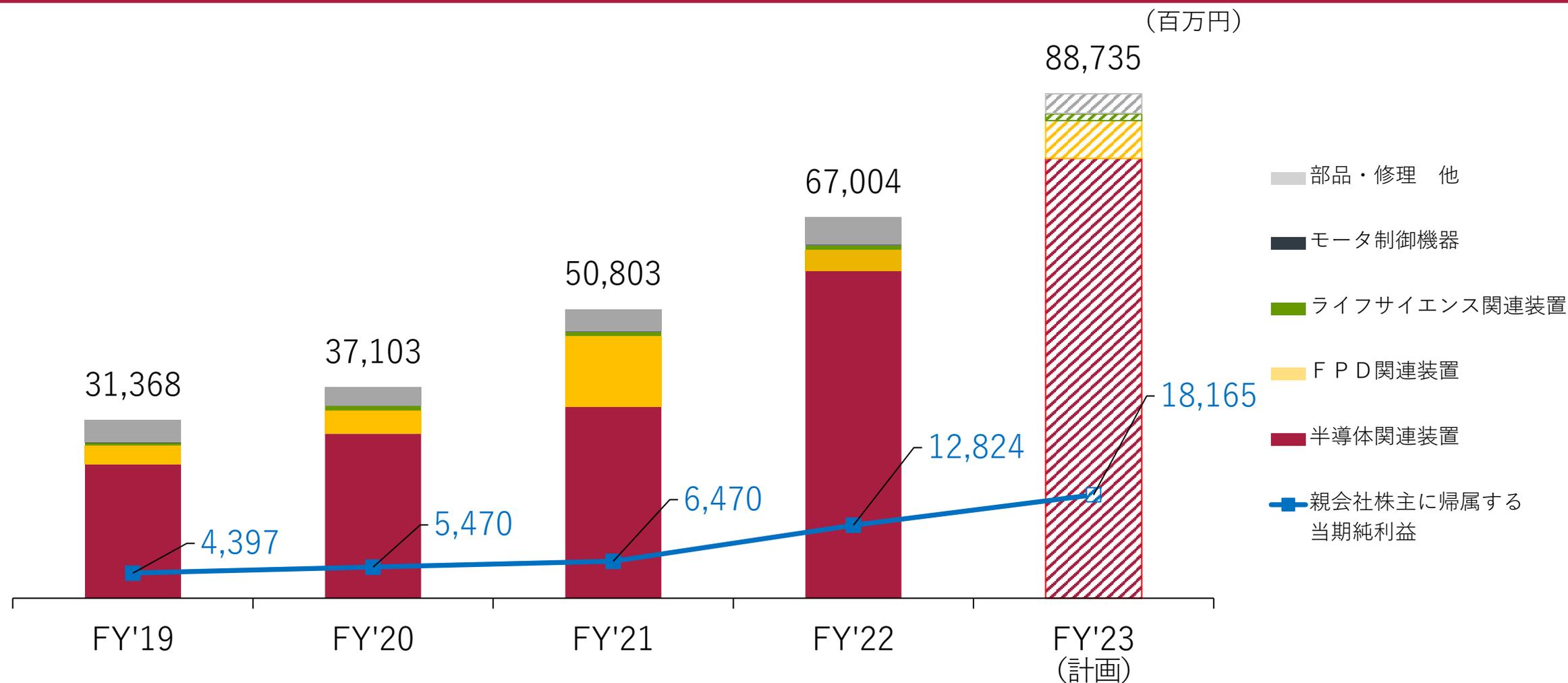
(百万円)

科 目	Q1 FY'23	FY'23 上期計画	FY'23 通期計画
売 上 高	21,688	43,974	88,735
半 導 体 関 連 装 置	18,210	37,157	77,387
F P D 関 連 装 置	2,166	4,549	6,659
ラ イ フ サ イ エ ン ス 関 連 装 置	44	495	1,147
モ ー タ 制 御 機 器	36	58	118
部 品 修 理 他	1,229	1,713	3,422
営 業 利 益	5,029	11,864	24,733
経 常 利 益	7,186	11,859	24,755
親 会 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 (当 期) 純 利 益	5,126	8,903	18,165

※1 期初計画時の為替レートは1ドル122円台を想定しております

※2 当四半期より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)を適用

2023年2月期 今後の見通し





トピックス

ベトナムA10工場建設工事の進捗状況



2022年7月4日撮影

- 工事は予定どおり進捗
 - ・ 2022年8月末竣工予定
 - ・ 9月稼働開始予定
- 生産はユニット製品（ロボット・ロードポート・アライナなど）、生産能力2倍を予定

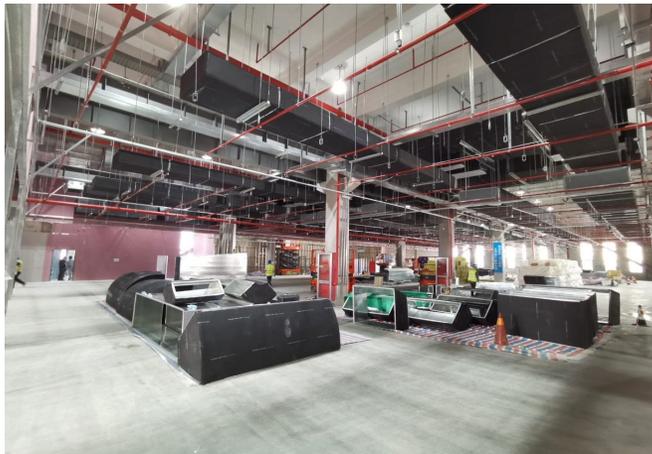
中国子会社でのEFEM生産に向けて



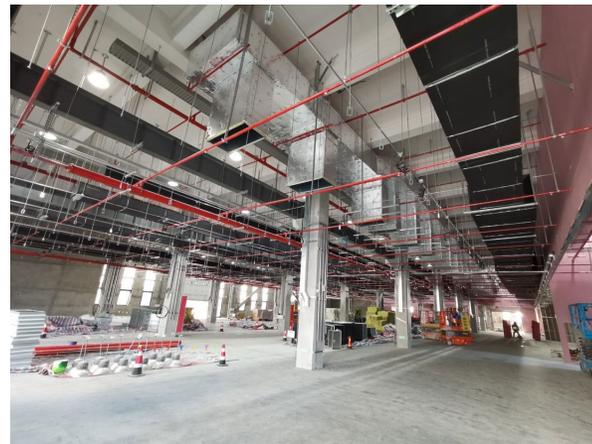
レンタル工場 外観



2F 倉庫



1F クリーンルーム



2022年7月1日撮影

- 工事は、上海市のコロナ感染拡大対応ロックダウンに伴い1か月半中断し、6月より再開、9月半ば引き渡し、10月稼働開始予定
- 生産は、EFEM最終組立を予定、中国での量産をはかる

ローツェライフサイエンス 新社屋にて業務開始



- 計測機器メーカーミットヨ社の研究所を取得、6月より業務開始
- 開発、生産機能の集約、顧客・取引先との商談、試作品製作、各種実験、測定のほか、モバイルロボットなどの新規開発装置のショールーム機能を追加し多目的に活用

モバイルロボット
による搬送システム



ローツェ九州工場 クリーンルームエリア拡張工事



ローツェ九州工場 外観



安全祈願祭（2022年6月30日撮影）

- 九州工場（熊本県合志市 セミコンテクノパーク内）のクリーンルームエリアを2倍に半導体関連装置の生産拡大をはかる
- 世界最大の台湾ファウンドリによる半導体設備投資、九州をはじめ国内半導体設備投資需要に対応
- 工期： 2022年8月～11月末（予定）
- 投資金額： 約3億円



参 考 资 料

事業内容

半導体関連装置



F P D 関連装置（液晶、有機EL）



ライフサイエンス関連装置（創薬、再生医療）



半導体関連装置（半導体）

装置メーカー向け

大気用
搬送ロボット



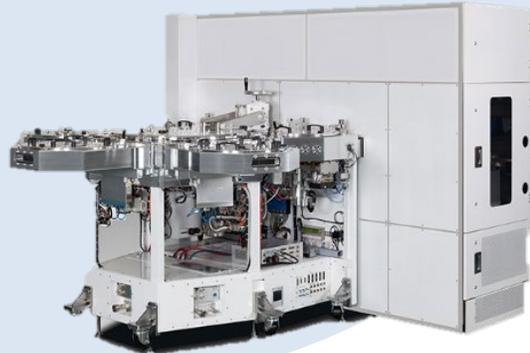
アライナ



N2対応
シャッターロードポート



EFEM



真空プラットフォーム

エンドユーザ向け



ウエハソータ



N2パージウエハストックカ



アクティブロードポート(ALP)

FPD関連装置（液晶、有機EL）

液晶、有機ELの製造工程で使用されるガラス基板をクリーン搬送する装置、切断する装置を開発・製造・販売



ガラス基板搬送システム



Laser Glass Cutting Machine
(レーザ式ガラス基板切断装置)

ライフサイエンス関連装置 (創薬・再生医療)



メカトロCO₂ インキュベータ
SCALE120



自動培地交換機能搭載
細胞培養装置
CellKeeper120



観察機能付き培地交換装置
CellKeeper48Plus



全自動培地交換システム
CellFarm Light



細胞観察装置
CellShot



スケジューリング ソフトウェア
Green Button Go™ ※
(※Biosero社製)

ありがとうございました

